

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年6月23日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 静岡県御殿場市新橋385

氏名 岳南建設株式会社

代表取締役 勝又恵一郎

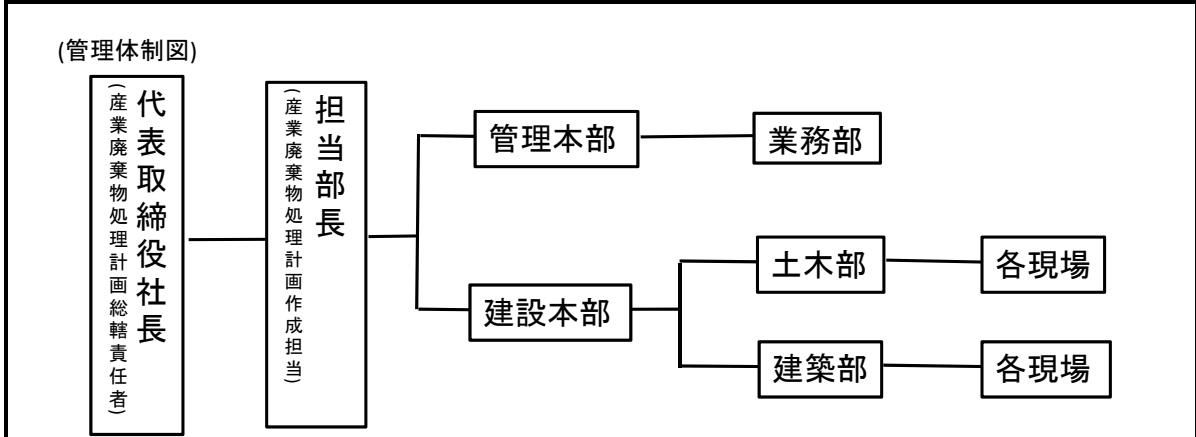
電話番号 0550-82-1177

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岳南建設株式会社
事業場の所在地	静岡県御殿場市新橋385
計画期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合建設業
② 事業の規模	完工高 3,058百万円
③ 従業員数	68人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1の通り

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙2の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(これまでに実施した取組) 受注案件の状況により産業廃棄物の発生量は大きく変動する為、コントロールすることは難しいが、材料を購入する際に精査し無駄のない様に管理する。	
②計画	【目標】 別紙2の通り	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き材料を購入する際は、無駄が発生しないよう精査し管理する。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物について出来る限り分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 建設混合廃棄物について出来る限り分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 自ら再生利用は行っていない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 今後も自ら再生利用を行う計画はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 自ら中間処理は行っていない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	t
(今後実施する予定の取組) 今後も自ら中間処理を行う計画はない。			

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

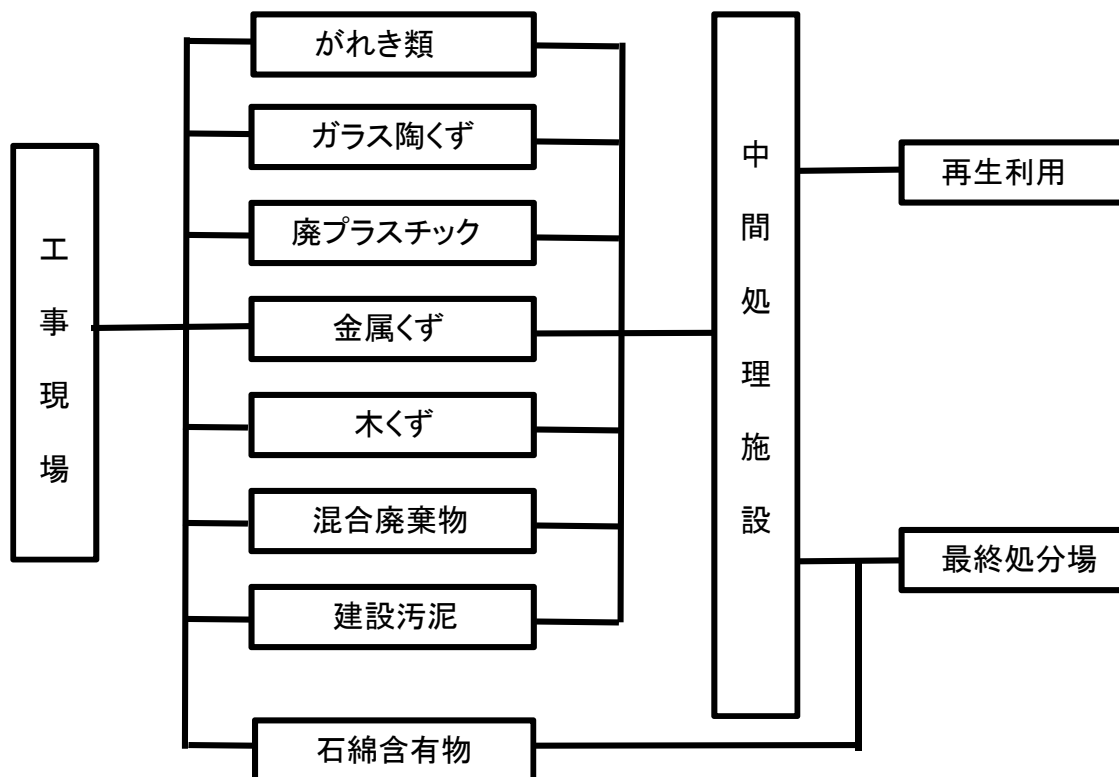
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまで実施した取組) これまで自社で埋め立て処分または海洋投入処分を実施したことはない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き埋め立て処分または海洋投入処分を実施することはない。		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和3年度）実績】 別紙3の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまで実施した取組) 排出量は受注工事の内容及び件数により増減するため当方でコントロールすることは難しいが、処理に関しては再生利用業者への委託を推進した。		

②計画	【目標】別紙3の通り		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 受注案件の状況により産業廃棄物の発生量は大きく変動し、当方でコントロールしかねる部分が大い為、発生させた産業廃棄物の処理方法に留意し、優良認定処理業者及び再生利用業者への委託を推進する。		
※事務処理欄			

### 産業廃棄物の一連の処理工程



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①	【前年度(令和3年)実績										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス陶くず	がれき類	建設混合	安定混合	管理混合	石綿含有
	排出量	1	30	649	9	39	6878	32	98	23	4
現状	(これまでに実施した取り組み) 受注案件の状況により産業廃棄物の発生量は大きく変動する為、コントロールすることは難しいが、材料を購入する際に精査し無駄のないよう管理する。										
②	【目標】										
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス陶くず	がれき類	建設混合	安定混合	管理混合	石綿含有
	排出量	1	30	650	10	30	6,800	30	90	20	4
計画	(今後実施する予定の取り組み) 引き続き材料を購入する際は、無駄が発生しないよう精査し管理する。										

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和3年)実績】											
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス陶くず	がれき類	建設混合	安定混合	管理混合	石綿含有	
① 現状	全処理委託量	1	30	649	9	39	6878	32	98	23	4
	優良認定処理業者	0	30	632	9	34	2,861	31	89	23	0
	再生利用業者	1	0	17	0	5	4,017	1	9	0	4
	認定熱回収業者										
	認定熱回収外										
(これまでに実施した取り組み) 受注案件の状況により産業廃棄物の発生量は大きく変動する為、コントロールすることは難しいが、処理に関しては優良認定業者及び再生利用業者へのいたくを推進した。											
【目標】											
産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック	木くず	金属くず	ガラス陶くず	がれき類	建設混合	安定混合	管理混合	石綿含有	
② 計画	全処理委託量	1	30	650	10	30	6,800	30	90	20	4
	優良認定処理業者	0	30	600	10	30	3000	30	80	20	4
	再生利用業者	1	0	50	0	0	3800	0	10	0	0
	認定熱回収業者										
	認定熱回収外										
(今後実施する予定の取り組み) 受注案件の状況により産業廃棄物の発生量は大きく変動し、当方でコントロールしかねる部分が多い為、発生させた産業廃棄物の処理方法に留意し、優良認定業者及び再生利用業者への委託を引き続き推進する。											